

授業科目	民事訴訟法演習
演習題目	判決手続の基礎
担当教員	上田 竹志・浅野 雄太
授業の目的	<p>①民事訴訟法をはじめとする民事手続法の基本的知識および判例についての理解を深める</p> <p>②民事手続法に関する最新の課題について発見し、議論する</p> <p>③効果的なプレゼンテーションおよび議論に関するスキルを養成する</p>
履修条件	民事訴訟法の講義を同時並行して履修するか、履修済みであることが望ましい（民法の各授業も並行して履修しているとなお望ましい）。4年生の参加、サブゼミでの参加、オブザーバー参加も歓迎します。ロースクール志望か否かも問いません。
教科書・参考書	高田裕成ほか編『民事訴訟法判例百選〔第6版〕』（有斐閣・2023年）のほか、民事訴訟法の授業で用いた教科書・参考書を使用。その他の参考文献は報告内容に応じて教員が指定。
授業の計画・内容	<p>前期は、民事訴訟法判例百選掲載の判例ないし典型論点のほか、学生が関心を有する民事手続法のテーマを設定し、報告・議論する（例：2023年度は、令和4年民事訴訟法改正にかかわるテーマなどについても扱った。倒産法など、民事訴訟法以外の民事手続法の論点も歓迎。パワーポイントなどを用いて効果的なプレゼンを目指す）。</p> <p>後期は、名古屋大学の渡部美由紀ゼミとの合同ゼミ（2024年度は福岡で開催予定）に向けての準備が中心となる。合同ゼミでは、設問が3問設定され、ゼミ対抗で議論を行う前提として、議論のための基礎知識の養成と関連する学説等について検討を行う</p>
成績評価の方法	演習への出席、報告、討論での発言等を総合的に評価